学校関係者評価報告書（2024年度）

前橋医療福祉専門学校

学校関係者評価報告書

この学校関係者評価報告書は、前橋医療福祉専門学校の
学校関係者評価委員会の結果を記したものである。

令和7年6月10日

校長 横田 明子

自己点検・評価責任者 萩原 由佳梨

目 次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的
2. 学校関係者評価の基本方針
3. 学校関係者評価委員名簿
4. 学校関係者評価委員会実施日時
5. 学校関係者評価方法

II. 学校関係者評価結果

1. 教育理念・目標
2. 学校運営
3. 教育活動（重点取組）
4. 学修成果
5. 学生支援
6. 教育環境
7. 学生の受入れ募集（重点取組）
8. 財務
9. 法令等の遵守
10. 社会貢献・地域貢献
11. 国際交流

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的

自己点検・自己評価結果の客観性・透明性を高めると共に、学校関係者評価委員会の設置により継続的な連携協力体制を確保し、学校運営の更なる改善を図ることを目的とする。

2. 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

3. 学校関係者評価委員会 出席者

区分	氏名	所属(備考)
業界関係者	周藤 信幸	住宅型有料老人ホームゆるり館 施設長
卒業生	飯塚 美咲	前橋医療福祉専門学校 医療秘書学科 卒業生
保護者	木暮 めぐみ	前橋医療福祉専門学校 理学療法学科 2年 保護者

※敬称略

4. 学校関係者評価委員会実施日時

実施日時：令和7年6月10日（火） 14：00～15：30

場 所：前橋医療福祉専門学校 小研修室

5. 学校関係者評価方法

2024年度の自己点検・自己評価報告書に基づき、評価項目の結果および課題、改善方策について以下の視点から評価を行った。なお各評価は4段階に区分している。

①自己点検・自己評価結果が適切かどうか

②背景や課題への認識が適切かどうか

③改善方策としての取組みが適切かどうか

(適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1)

※自己点検・自己評価についても同様に4段階評価となる。

II. 学校関係者評価結果

1. 教育理念・目標

(自己点検・自己評価における評価)

評価項目	4段階評価
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
・学校における職業教育の特色は何か	4
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

(自己点検・自己評価における課題認識や改善方策)

教育理念、育成人材像の周知に併せて各学科が関係業界の進歩に対応できるよう教育をしていかなければならない。また同学科を保有する他校も増えていることから、教育内容、実習内容を充実させることで、他校との差別化を明確にしたい。

具体的には、関係業界からの情報収集を密にすることで、よりリアルな情報を教育に落とし込み、AI やロボット技術が進歩する将来においても必要とされる人間性豊かな人材の育成と併せて推進していきたい。

(学校関係者評価委員会における評価)

評価視点	4段階評価
① 自己点検・自己評価結果が適切かどうか	4
② 背景や課題への認識が適切かどうか	4
③ 改善方策としての取組みが適切かどうか	4

(学校関係者評価委員からのご意見)

・一人一人の学生と向き合い、学生と教員の多くの関わりを通して、医療福祉業界で活躍できる人間性豊かな人材を育んでもらいたい。

2. 学校運営

(自己点検・自己評価における評価)

評価項目	4段階評価
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
・運営方針や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

(自己点検・自己評価における課題認識や改善方策)

効率的な組織運営、人的資源管理を徹底すること、定期的な職務分掌の変更と人材配置の見直しや、教職員利用ソフトウェアにおける各種規則・規程の掲載、共有化を推進することが課題となる。方策として、組織運営には個々の能力を適切に判断しながら、個人ではなく部署単位で業務を遂行できるよう体制の整備を行い、業務内容やプロセスを共有化できるようにする。並行して、能力開発の一環で各種研修会等への参加も積極的に促していく。またホームページやSNS、YouTubeチャンネル等を活用した学校の取組み等を発信し、情報公開を継続する。

(学校関係者評価委員会における評価)

評価視点	4段階評価
① 自己点検・自己評価結果が適切かどうか	4
② 背景や課題への認識が適切かどうか	4
③ 改善方策としての取組みが適切かどうか	4

(学校関係者評価委員会からのご意見)

各項目の評価について、委員からの意見・指摘等はなく、自己評価が妥当であるとの評価を受けた。

3. 教育活動（重点取組）

（自己点検・自己評価における評価）

評価項目	4段階評価
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

（自己点検・自己評価における課題認識や改善方策）

教員の教育力や学生指導能力に差があることが引続きの課題である。授業準備や学生対応に時間が割かれていることで教育力や学生指導について十分な研修ができていない。そのため、教員の教育力に差があり、初年次教育の不足が生じ、授業についていけない学生が出てしまっている。

具体的な方策として、定期的な学内研修の実施と授業評価アンケート・授業参観の実施により、各教員の指導内容の確認とフィードバックから改善を促していく。他学科の教員からの意見やノウハウを得ることで教育の質の改善を図る。また、学内インターネットの

環境が整備され、学生のネット環境の向上と教員対象の教育機器等が充実していることにより学生がPCを持ち込み、授業を受けることで学生自身のITリテラシーの向上が図れるようになった。より質の高い教育を行うことができるため、教員のICT能力の向上を目指す。

(学校関係者評価委員会における評価)

評価視点	4段階評価
① 自己点検・自己評価結果が適切かどうか	4
② 背景や課題への認識が適切かどうか	4
③ 改善方策としての取組みが適切かどうか	4

(学校関係者評価委員からのご意見)

授業参観は学内の役職者が授業参観を行って、改善を促しながら教育を考えているものと思うが、学外の関係者にも授業に参加を依頼し意見などを参考にすることもよいのではないかと考える。

4. 学修成果

(自己点検・自己評価における評価)

評価項目	4段階評価
・就職率の向上が図られているか	4
・資格取得率の向上が図られているか	3
・退学率の低減が図られているか	3
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

(自己点検・自己評価における課題認識や改善方策)

国家試験合格率が全国平均を下回る学科について、国家試験合格率の向上は、重要課題と捉えている。予備校講師による教員サポートや国家試験対策用ソフトの活用により国家試験対策を強化している。

また、退学者が1年次に多くいることについて、初年次教育の不足を（3. 教育活動）にて課題として挙げているが、入学当初より学生への声掛けや面談等を通して、学習理解

度の把握に努め、保護者と連携し、生活と学業の両面へのきめ細やかなサポートを充実させることで初年次の退学者の減少を図る。

医療福祉従事者に必要なコミュニケーション能力の向上を目的とした「沖縄今帰仁村研修旅行」を実施し、民泊体験でのホストファミリーとの交流や海岸清掃ボランティア等を体験することで人間的成長を感じられる研修を行っている。

(学校関係者評価委員会における評価)

評価視点	4段階評価
① 自己点検・自己評価結果が適切かどうか	4
② 背景や課題への認識が適切かどうか	3
③ 改善方策としての取組みが適切かどうか	3

(学校関係者評価委員からのご意見)

- ・目指すべき資格以外の職域にも目をむけられるようにして欲しい。
- ・国家試験の合格に向けて勉強に励んでいると思うが、卒業後の考え方の幅も広がるため、長期休暇の時などに、目指している国家資格以外の資格取得を取り入れることを検討してほしい。
- ・退学者を減少させるため、教員の負担にならない程度に、一人一人の学生と向き合い、保護者と連携し、きめ細かいフォローや指導をお願いしたい。

5. 学生支援

(自己点検・自己評価における評価)

評価項目	4段階評価
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
・学生の生活環境への支援は行われているか	4
・保護者と適切に連携しているか	4
・卒業生への支援体制はあるか	3
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3

・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3
--	---

(自己点検・自己評価における課題認識や改善方策)

教育訓練給付制度や修学支援制度により教育環境や経済的な支援体制の整備は進んでいるが、僅かながら経済的理由で学業を継続できない学生もいる。(4. 学修成果)の改善方策と同様に生活と学業両面へのきめ細やかなサポートを充実させる必要がある。

高等学校とのキャリア教育連携事業を実施し、高等学校卒業後の進路を考える機会としている。

(学校関係者評価委員会における評価)

評価視点	4段階評価
① 自己点検・自己評価結果が適切かどうか	4
② 背景や課題への認識が適切かどうか	4
③ 改善方策としての取組みが適切かどうか	3

(学校関係者評価委員からのご意見)

- ・高等学校とのキャリア教育連携事業の実施は、職業を知る良い機会である。学校側としてもより広く周知できるよい事業であるため、今後も継続して欲しい。
- ・国家試験に合格できなかった学生の卒業後のフォローがあると良い。国家試験に合格できなかったとしてもこの学校で学べてよかったと思うものがあると、入学者数にも反映してくると思う。

6. 教育環境

(自己点検・自己評価における評価)

評価項目	4段階評価
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について 十分な教育体制を整備しているか	4
・防災に対する体制は整備されているか	4

(自己点検・自己評価における課題認識や改善方策)

学内の Wi-Fi を整備したことで、PC や動画等を用いて映像コンテンツによる学習を行えるようになり、学生の理解の向上を促せる環境が整えられた。また、老朽化した設備、備品の取替更新を行ったが、前年度の課題認識や改善方策と同様に、施設・設備の経年劣化が、継続的な課題となる。最新の施設・設備へと随時更新していきたい。

防災訓練に関しては毎年、4月のオリエンテーション期間に全学生、教職員が訓練を行っている。

(学校関係者評価委員会における評価)

評価視点	4段階評価
① 自己点検・自己評価結果が適切かどうか	4
② 背景や課題への認識が適切かどうか	4
③ 改善方策としての取組みが適切かどうか	4

(学校関係者評価委員からのご意見)

各項目の評価について、委員からの意見・指摘等はなく、自己評価が妥当であるとの評価を受けた。

7. 学生の受入れ募集 (重点取組)

(自己点検・自己評価における評価)

評価項目	4段階評価
・学生募集活動は、適正に行われているか	3
・学生募集活動において、教育成果は伝えられているか	3
・学納金は妥当なものとなっているか	4

(自己点検・自己評価における課題認識や改善方策)

学生募集活動は、学科間の定員充足率の格差が課題となっている。

言語聴覚学科に関しては入学者数の減少により2025年の入学生を以って募集停止をすることとなった。

他の学科に関しては、少子化に伴う募集対象の減少や高校の進路指導における大学進学への意識も高まっているため、(5. 学生支援)にある高等学校とのキャリア教育連携事業等、専門学校への進学希望者の裾野を広げる活動を引き続き積極的に行っていきたい。

2024年度には商業施設内で職業理解の認知度を上げるため、イベントを行った。また

2026年度には新学科が開講する予定となっている。

募集対象の減少については、県外や地方部に募集活動エリアを拡げることで広報面からのアプローチを増やしていきたい。

(学校関係者評価委員会における評価)

評価視点	4段階評価
①自己点検・自己評価結果が適切かどうか	4
②背景や課題への認識が適切かどうか	4
③改善方策としての取組みが適切かどうか	4

(学校関係者評価委員からのご意見)

- ・学生募集は、広範囲に、教職員が出向き、直接、高等学校の進路指導教員と面談し、職業理解を促していくことが大切である。SNS等を活用し、職業を知るというきっかけを作り、対象者を幅広く捉え、掘り起こして行ってほしい。
- ・オープンキャンパスでは職業体験を継続して行い、高校訪問、高校ガイダンスでは引き続き職業の大切さを伝え続けて欲しい。

8. 財務

(自己点検・自己評価における評価)

評価項目	4段階評価
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
・財務について会計監査が適正に行われているか	4
・財務情報公開の体制準備はできているか	2

(自己点検・自己評価における課題認識や改善方策)

より強固な財務基盤を築いていく為に、教職員の意識、その材料となるタイムリーな情報共有が必要である。引続きの課題である財務情報公開の体制準備と共に改善をしていきたい。

(学校関係者評価委員会における評価)

評 価 視 点	4段階評価
①自己点検・自己評価結果が適切かどうか	4
②背景や課題への認識が適切かどうか	4
③改善方策としての取組みが適切かどうか	3

(学校関係者評価委員会からのご意見)

各項目の評価について、委員からの意見・指摘等はなく、自己評価が妥当であるとの評価を受けた。

9. 法令等の遵守

(自己点検・自己評価における評価)

評 価 項 目	4段階評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
・自己評価結果を公開しているか	4

(自己点検・自己評価における課題認識や改善方策)

個人情報を扱うことのリスク意識の醸成も大事ではあるが、過度なリスク意識ではなく、適切な管理ができるように指導していきたい。また授業や学生募集活動等の使用資料に関係する権利なども、個人情報と等しくリスク意識の醸成を図りたい。

(学校関係者評価委員会における評価)

評 価 視 点	4段階評価
①自己点検・自己評価結果が適切かどうか	4
②背景や課題への認識が適切かどうか	4
③改善方策としての取組みが適切かどうか	4

(学校関係者評価委員会からのご意見)

各項目の評価について、委員からの意見・指摘等はなく、自己評価が妥当であるとの評価を受けた。

10. 社会貢献・地域貢献

(自己点検・自己評価における評価)

評価項目	4段階評価
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

(自己点検・自己評価における課題認識や改善方策)

コロナ以降、ボランティア活動に参加する学生が減少していたが、改めてボランティアの意義を理解させ、やりがいを伝えて、積極的に参加するよう促していきたい。

ボランティア活動の一環として We are buddies の活動支援を継続して行い、地域貢献として「前橋学の普及促進に関する連携協定」を前橋市と締結し特別講座を本校で開催した。

また、2024年度より高等学校向けの部活動支援を行い講師を派遣することで、新たな連携を構築している。

(学校関係者評価委員会における評価)

評価視点	4段階評価
①自己点検・自己評価結果が適切かどうか	4
②背景や課題への認識が適切かどうか	4
③改善方策としての取組みが適切かどうか	4

(学校関係者評価委員からのご意見)

- ・前橋市との連携ではじめられた「前橋学」や「We are Buddies」は大変興味深い。地域貢献や学生のボランティア活動はぜひ続けて欲しい。

11. 国際交流

(自己点検・自己評価における評価)

評価項目	4段階評価
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3

・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3

(自己点検・自己評価における課題認識や改善方策)

在留資格における認定申請結果（交付率）に課題はあるものの、本校日本語学科の入学希望者は増えている状況である。今後も新規エージェントの開拓を推進しながら、申請結果に対しての傾向と対策を講じていきたい。留学生担当部署（留学生センター）を設置することで、学習や生活指導等を学科教員と担当職員が協力してサポートする体制を整えたが、入国制限の緩和等を理由に、留学生の在籍数が増えたため、サポート方法の再考が課題である。

(学校関係者評価委員会における評価)

評価視点	4段階評価
①自己点検・自己評価結果が適切かどうか	4
②背景や課題への認識が適切かどうか	4
③改善方策としての取組みが適切かどうか	4

(学校関係者評価委員からのご意見)

- ・身近に家族等がない留学生は不安が多いと思うので、安心して学生生活を送れるようフォローをお願いしたい。
- ・本校に在学する留学生間で良い関係が築けるようなコミュニティづくりの支援や日本人学生との交流を授業やイベントを通じて推進して欲しい。